
北海道高等聾学校

本科普通科 重複学級のしおり

2026 年度

本校は、北海道で唯一、聴覚に障がいのある生徒が通う特別支援学校高等部です。本校への進学をご検討の皆様には、様々な学習活動や学校行事への期待とともに、新たな環境での学校生活に対する不安を感じているのではないのでしょうか。重複学級の学習内容や教育課程、日々の学習の進め方について、具体的なイメージを持ちにくい点もその一因かと思います。

本しおりは、重複学級の教育内容や取組について、理解していただくことを目的として作成しました。入学を検討されている生徒や保護者の皆様をはじめ、企業、福祉事業所、教育関係の皆様など、本校の教育活動に関心をお持ちの方々にご覧いただき、理解を深めていただければ幸いです。なお、本しおりだけでは十分にお伝えしきれない点もあると思います。ご不明な点等がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

重複学級での学び

重複学級の目標と経営方針 身に付けてほしい力

◆重複学級について

本校普通科重複学級は、聴覚障がいに加え、他の障がいを併せ有することから特別な配慮を必要とする生徒を対象として設置されています。正式には、1996年（平成8年）4月に本科普通科の重複学級として開設されました。2026年度は、第1学年3名、第2学年5名、第3学年3名、合計11名が在籍しています。

重複学級では、生徒の「楽しい」「やってみたい」という気持ちを大切に、学習への興味・関心や意欲を高める授業づくりに努めています。また、一人一人の卒業後の生活を見据え、生涯にわたり自分らしく豊かに生きていくことができるよう、自己の課題を認識し、その改善に向けて主体的に取り組む力を育む学習活動を行っています。

◆重複学級の目標

学校教育目標を受け、以下の3点を目標に教育を行っています。

1. 自分を見つめ、自己を受け入れながら卒業後の自立と社会参加をめざし、さまざまな体験的な学びを通して基礎的・基本的な知識・技能を養う。
2. 多様なコミュニケーション手段を身に付け、自分の考えを正確に伝えることができるとともに、相手の意見を聞きながら仲間と協力・共同して学び合う力を育む。
3. 自分の役割や状況を理解し、自分の良さや長所を生かしながら生活する力を育てる。



社会的自立に必要な力を身に付け、豊かに生きる人を育てる

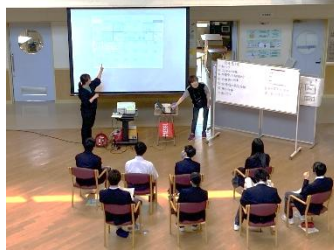
◆他の学級（生徒）との交流

日々の学習や行事は、重複学級の学習活動で取り組んでいますが、LHR、自立活動等の授業や委員会活動、宿泊学習、見学旅行、社会見学、高鷲祭、スポーツ大会などの学校行事は、重複学級以外の同級生や、上級生、下級生と一緒に取り組みます。また、部活動に加入している生徒は、その部活でそれぞれの交流があります。

【宿泊研修：1年生】



【高鷲祭係の仕事】



【見学旅行：2年生】



【スポーツ大会】



◆学習スタイル

学習スタイルは「少人数型」と「集団型」に大きく分かります。

- 個々の実態(発達や習熟度等)に合わせているので、苦手なことでも生徒の学びのペースで、じっくりと取り組むことができます。



少人数型学習

- みんなで一緒に取り組むことにより、集団行動やマナー等についても学ぶことができます。人とのかかわりを重視します。



集団型学習

時間割について

教科、領域・教科を合わせた指導 ～それぞれの学習のねらいと内容～

R8年度重複学級時間割(A教育課程)

曜日	月	火	水	木	金										
8:30~8:45	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR										
1校時 8:45~9:35	HR	国語	数学	自立活動	総探(自立)										
2校時 9:45~10:35	体育	体育	体育	体力づくり	数学										
3校時 10:45~11:35	生単(社会)	生単(理科)	生単(美術)	生単(英語)	生単(全体・HR)										
4校時 11:45~12:35	国語	数学	国語	情報	生単(全体・HR)										
12:35~13:10	給食														
5校時 13:15~14:05	作業D ①	作業B ②	作業A ③	作業C ①	作業A ②	作業B ③	作業E ①	作業E ②	作業C ③	作業A ①	作業D ②	作業E ③	作業B ①	作業C ②	作業D ③
6校時 14:15~15:05															
15:15~15:20	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR										

R8年度重複学級時間割(B教育課程)

曜日	月	火	水	木	金
8:30~8:45	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR
1校時 8:45~9:35	LHR	日生	日生	自立活動	総探(自立)
2校時 9:45~10:35	生単 (体力)	生単 (体力)	生単 (体力)	生単 (体/情)	日生
3校時 10:45~11:35	数学	生単 (社/美)	数学	生単 (理/英)	生単 (学級)
4校時 11:45~12:35	国語	数学	国語	国語	生単 (学級)
12:35~13:10	給食				
5校時 13:15~14:05	B課程 作業	B課程 作業	B課程 作業	B課程 作業	B課程 作業
6校時 14:15~15:05	日生	日生	日生	日生	日生
15:15~15:20	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR

※ B教育課程では、1日の生活の流れに見通しを持ち、情緒の安定を図りながら生活のリズムを整えることを目標に、A教育課程よりも個の実態に合わせた学習をしています。

❖ 「教科学習」ではどんなことをするのか？

◎ 「国語」「数学」

生徒の実態や課題に応じた学習や、生活に根ざした学習に取り組みます。必要に応じて、生活単元学習や情報等の学習と関連付けながら取り組みます。

◎ 「体育」

体育科の教員が指導します。ミニバレーや水泳、スキー学習などに取り組みます。スポーツ大会がある時は、競技内容に応じた内容に取り組みます。

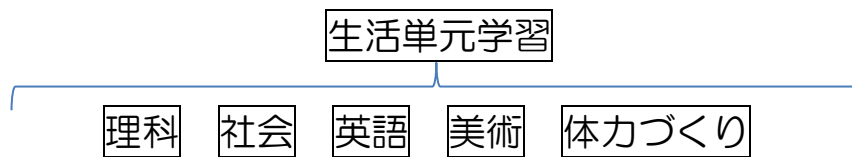
◎ 「情報」

パソコンに親しむことを目標に、インターネットを使用した調べ学習や Word (ワード) を使用した文字入力や画像編集を学び、PowerPoint (パワーポイント) を使用して、重複学級の紹介スライドやカフェのポスター作成、Word を使用して校外学習のしおりの作成などに取り組みます。

❖ 「領域・教科を合わせた指導」の学習ではどんなことをするのか？

「領域・教科を合わせた指導」の学習として、「生活単元学習」や「作業学習」を行っています。様々な教科を複合的、横断的に学習し、卒業後の生活を意識した学習内容を設定しています。

◎生活単元学習



上記の学習については、合同の生活単元学習としてそれぞれの教科を総合的に学べるように計画しています。

◎作業学習 職業的自立や社会参加を目指し、実践的な技能や働く態度を身に付けるための学習です。

【1年生】

作業A (トータルプラン)	作業B (リサイクル)	作業C (クリーニング)	作業D (クラフト)	作業E (ライフ)
<ul style="list-style-type: none"> 軽作業 箱折り 計量 ネジ(組み立て) 箸セット 封入 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル 牛乳パックラミネー トはがし シュレッダー 裁断 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃 洗濯 アイロンがけ 	<ul style="list-style-type: none"> 手工芸 織機 レザークラフト 	<ul style="list-style-type: none"> メモ帳づくり データ入力 洗い物

【2・3年生】

作業A (トータルプラン)	作業B (リサイクル)	作業C (クリーニング)	作業D (クラフト)	作業E (ライフ)
<ul style="list-style-type: none"> コースター受注生産販売 カフェ運営 食品製造 カフェのクッキー作り 	<ul style="list-style-type: none"> 紙工 メニュー表 チケット ランチョンマット 畑 清掃 	<ul style="list-style-type: none"> クリーニング モップクリーニング アイロン(通年) じゅうたん洗い 冷やしおしぼり カフェエプロン 	<ul style="list-style-type: none"> 木工 カフェメニュー立て iPad立て 	<ul style="list-style-type: none"> 生活 調理室の使い方 食器の洗い方 お弁当箱の受注洗い カフェの道具洗い 軽調理 縫製
カフェに関わること				

行事について

～重複学級が取り組んでいる行事～

❖ 行事のねらいは？

主に、以下の二つの力の向上を目標に取り組んでいます。

「協調性」

～みんなで一緒に～

◎ 集団で活動することで、仲間と一緒に活動できるように支援します。

「社会性」

～やってみる～

◎ 社会での実体験を通して、社会参加に必要なスキルの向上のための支援をします。

◎ 入学を祝う会

新1年生と在校生の親睦を深めるために行います。1年生が安心して過ごすことができるよう、生徒が作成したスライドを使って重複学級の紹介をしたり、皆が楽しめるようなゲームをしたりします。

◎ 校外学習

公共交通機関を利用して校外へ出かけ、マナーや金銭管理、集団行動を実践的に学ぶ学習です。事前に割引制度や支払い方法を確認し、日常で身につけた力を活用します。(R7年度は小樽方面の散策)

◎ カフェの開催 (R5年度スタート)

年に一度の「shiwase cafe」の開催へ向け、カフェで提供する商品作り(クッキー、コーヒー等)や、ランチョンマットやランプシェード等の製作、接客のためのおもてなしの学習や清掃活動などについて、他の教科、単元と関連させるよう計画し、学びを深めていきます。

◎ 交流学習

小樽高等支援学校の生徒と交流を重ねながら、接客について意見交換をして、相手に伝わる言葉遣いや態度、思いやりの大切さを学んでいます。互いの取り組みや工夫に触れることで新たな気付きが生まれ、より良い接客を目指そうとする意欲が高まっています。

◎ 卒業を祝う会

3年生にとって、仲間と一緒に活動する最後の行事になります。下級生は卒業生をもてなすためにアイデアを出し、当日に向けて進行を考えたり、皆が楽しめるゲームの立案・運営を行ったりします。

評価について

～「個別の指導計画」にもとづいた評価～

重複学級では、「個別の指導計画」に基づいて学習を進めるとともに、その達成状況について評価を行っています。本校における学習評価は、各授業や単元ごとの評価に加え、「個別の指導計画」に示された前期・後期の目標に対する評価を総合的に行うものです。この学習評価の基盤となるのが「個別の指導計画」です。生徒一人一人の実態に応じて各教科等の目標を適切に設定し、それに基づいた指導を行うとともに、計画内で設定した目標の達成状況を評価します。

令和7年度

年に一度だけの
shiwase café



校外学習（小樽方面）



生活単元学習（理科）

雪印 食育プログラム「牛乳の大切さを知ろう」



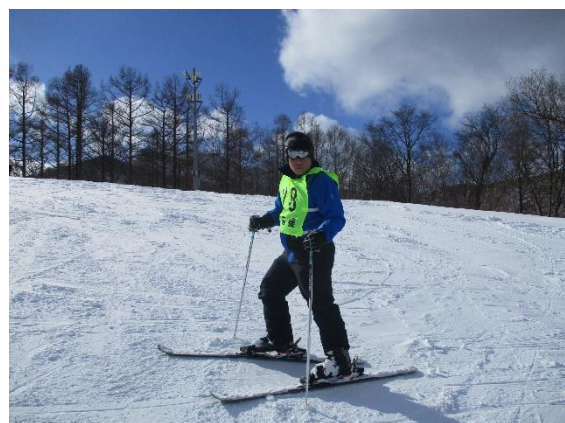
自立活動

「おいしいコーヒーの入れ方」



体育

スキー学習（ONZE スキー場）



進路について

進路が決まるまで

★進路が決まるまでの基本的なスケジュールは以下のとおりです。

学 年	主な流れ
1 学年	4月…入学式・保護者懇談 10月…就業体験（寄宿舍から通える範囲の施設等で実習）5日間
2 学年	6月…就業体験（寄宿舍から通える、または利用を希望する施設等で実習）10日間 8月…夏休み（希望があれば、施設等で実習可能） 12月…冬休み（希望があれば、施設等で実習可能）
3 学年	6月…就業体験（希望する施設等での実習）10日間 ※卒業後に利用したい施設等をこの時点で決定します 8月…夏休み（希望があれば、施設等で実習可能） 12月…冬休み（希望があれば、施設等で実習可能）

1・2年時で施設見学・体験実習を行い、3年時の6月に「前提実習」（＝施設等の利用を前提とした実習）を行えるように、個別懇談等で本人の希望を確認し、ご家族の意向も伺いながら、進路実現に向けてサポートします。また、各自治体や相談室と連携を取りながら、就労選択支援（福祉サービス）に関わるアセスメントを実施していただきます。

就労選択支援事業について

福祉サービスにおける就労選択支援とは、障がいのある方が自分に合った働き方や就労先を主体的に選択できるよう支援する制度で、令和7年（2025年）10月から開始されています。本人が自分に合った働き方（B型・A型等の福祉的就労なのか一般就労なのか）を適切に選べるよう、1ヶ月程度の短期間でアセスメント（評価）を実施するのが特徴です。そのアセスメント結果を本人や学校、相談室等の関係機関と共有し、本人に適した進路の決定を考えていきます。就労後も契約している相談室と繋がり、就労後の仕事の定着や安定した生活の実現に向けて、必要に応じた継続的な支援を行います。

サービス利用には受給者証の発行が必須ですので、各自治体の保健福祉課にお問い合わせ下さい。また、受給者証が手元にある場合も、就労選択支援サービスの利用について支給決定が必要となるため、併せてお問い合わせ下さい。

《令和7年度 就業体験の様子及び、実習先》

就業体験の実習先については、生徒一人一人の希望や興味、適性等を丁寧に把握した上で、実習の目的に沿った事業所を選定しています。また、将来の進路を見据え、適切な経験となるよう配慮しています。



《主な実習先》※実習先は生徒の希望や通勤が可能かどうか等を考慮して決定しています。

NPO 法人 協働友楽舎 ありすくらぶ	就労継続支援 B 型	札幌市	箱折り、封入
(株) 稲心会 就労継続支援 B 型 歩	就労継続支援 B 型	札幌市	箱折り
社会福祉法人 HOP Café ぷちりーべ	就労継続支援 B 型	札幌市	調理補助・接客
社会福祉法人 パン工房ひかり	就労継続支援 B 型	札幌市	パン製造補助
社会福祉法人 北海道リハビリーおおぞら	就労継続支援 B 型	北広島市	クリーニング
社会福祉法人 北海道宏栄社	就労継続支援 B 型	小樽市	クリーニング
社会福祉法人後志報恩会 コングベーカリー	就労継続支援 B 型	小樽市	パン製造補助
(有)シマダセイカ三央ストアー	八百屋・精肉・鮮魚販売	小樽市	惣菜陳列、調理補助
NPO 法人 音幸舎	就労継続支援 B 型	小樽市	部品解体・選別
社会福祉法人朔風 ささえ〜る	就労継続支援 B 型	札幌市	軽作業・委託作業
公益社団法人札幌聴覚障害者協会 ほほえみ作業所	就労継続支援 B 型	札幌市	軽作業
社会福祉法人北海道リハビリー セルプさっぽろ	就労継続支援 B 型	札幌市	ミシン縫製
医療法人 重仁会 就労支援センターてとて	就労継続支援 B 型	札幌市	調理補助(スイーツ)
NPO 法人 オペア B 型事業所りあん	就労継続支援 B 型	札幌市	箱折り、封入作業

◆重複学級を卒業された生徒さんの進路先と進学先

事業所名(学校名)	就労形態	所在地	仕事内容
NPO 法人ピースーズ	就労継続支援 B 型	旭川市	食品販売、小物製作
社会福祉法人 室蘭言泉学園 あけぼの	就労継続支援 B 型	室蘭市	清掃
社会福祉法人 北海道リハビリー おおぞら	就労継続支援 A 型・B 型	北広島市	クリーニング
社会福祉法人 あすなろ福祉会 あすなろ学園	生活介護	江差町	パン製造
十勝はくりんどう 就労継続支援 B 型 事業所 クローバー	就労継続支援 B 型	帯広市	菓子製造
NPO 法人ライフサポート絆 弁当工房 縁(ゆかり)	就労継続支援 A 型・B 型	旭川市	弁当づくり
しほろほのぼのホーム共同作業所 しほろほのぼのホーム	就労継続支援 B 型	士幌町	軽作業
社会福祉法人緑星の里 永光	就労継続支援 B 型	苫小牧市	清掃・丁合等
社会福祉法人 せらび 就労支援センター まろにえ	就労継続支援 B 型	苫小牧市	弁当づくり
(株)ケアサポート 笑ころ	生活介護	小樽市	スイーツづくり
社会福祉法人 北海道社会福祉事業団あかしあ学園	生活介護	札幌市	箱折り・帳合い等
非営利活動法人 ピースマイル	就労継続支援 B 型	札幌市	ヨシケイ委託業務 ポスティング
本校 専攻科情報デザイン科	2 年課程(修了後就労)	小樽市	デザインに関わる学習 *詳細は本校 HP にて
(株)NGK アップル	就労継続支援 A	恵庭市	きのこの収穫 (ファーム TORAO)
(株)しき ひだまり Cafe	就労継続支援 B 型	小樽市	カフェ運営・菓子製造
社会福祉法人 さっぽろひかり福祉会 パン工房ひかり	就労継続支援 B 型	札幌市	パン製造
社会福祉法人 HOP Café ぷちりーべ	就労継続支援 B 型	札幌市	調理補助・接客



(作成) 北海道高等聾学校 普通科重複学級

〒047-0261 小樽市銭函1丁目5番1号

TEL 0134(62)-2708(職員室直通)

FAX 0134(62)-2625(職員室直通)

ホームページ [http:// www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp](http://www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp)